

平成25年 研究成果発表会について

企業支援部 普及調整グループ 西宮耕栄

平成25年4月18日（木）に平成25年北海道森づくり研究成果発表会（木材利用部門）を旭川市大雪クリスタルホール大会議室（口頭発表）及びレセプション室（展示発表）において開催しました。

口頭発表では、北海道の総合振興局森林室から1件、北海道の総合振興局林務課と民間企業との共同で1件、林産試験場から7件の計9課題について研究成果等の発表が行われました。終日多くの参加者に発表を聴いていただき、各発表に対する質問や意見も多く出され、関心の高さがうかがえました。

展示発表では、林産試験場から16件、民間企業から1件、北海道の各総合振興局・振興局森林室から3件の計20件のポスターや試作品、製品などの展示が行われました。口頭発表者もポスター展示を行い、午前と午後を設定したコアタイム（説明時間）を中心に、参加者との活発な意見交換が行われ、今年も大変盛況のうち終了しました。

さらに、北海道水産林務部森林環境局森林活用課による写真展として「活躍する森林所有者の紹介」や林業普及指導員による日頃の普及指導活動を紹介する「第28回林業普及写真展」が開催されました。

そのほかに技術相談コーナーを設け、林産試験場の研究員が技術相談を受けるスペースとして利用していただきました。

参加人数は254名で、そのうちの116名が企業・団体からの参加者で、全体の半数程度を占めており、林産業全体にわたる当場の技術支援に対する期待と関心が業界の方々から寄せられているものと捉え、さらなる業界への貢献を図っていく必要性を強く感じたところです。

本誌では当日の発表を3回に分けて特集します。発表会当日にも新聞掲載され、北海道のみならず、全国的にも注目されている「糖尿病をターゲットにしたトドマツ樹葉由来機能性食品素材の開発」など、新しい木材利用の応用に関連する、それぞれの発表をご一読いただき、参考にしていただければ幸いです。



口頭会場での発表の様子



口頭会場での参加者の質問の様子



展示会場での発表者と参加者との交流



開発した木製遊具サンプルを展示